



サービス ポート インターフェイスの設定

- [サービス ポート インターフェイスについて, 1 ページ](#)
- [サービス ポート インターフェイスの設定に関する制限, 1 ページ](#)
- [サービス ポート インターフェイスの設定 \(GUI\) , 1 ページ](#)
- [サービス ポート インターフェイスの設定 \(CLI\) , 2 ページ](#)

サービス ポート インターフェイスについて

サービス ポート インターフェイスはサービス ポートを介した通信を制御し、サービス ポートに対して静的にマッピングされます。サービス ポートは DHCP を使用して IP アドレスを取得したり、固定 IP アドレスを割り当てたりすることはできますが、サービス ポート インターフェイスにデフォルト ゲートウェイを割り当てることはできません。サービス ポートへのリモート ネットワーク アクセスに使用される静的なルートはコントローラを通じて定義できます。

サービス ポート インターフェイスの設定に関する制限

- Cisco 7500 シリーズ コントローラと Cisco 5500 シリーズ コントローラにのみ、外部ネットワークから到達可能な物理サービス ポート インターフェイスがあります。

サービス ポート インターフェイスの設定 (GUI)

- ステップ 1** [Controller] > [Interfaces] の順に選択して、[Interfaces] ページを開きます。
- ステップ 2** サービス ポート リンクをクリックして、[Interfaces > Edit] ページを開きます。
- ステップ 3** 次の Service-Port Interface パラメータを入力します。

(注) サービスポートインターフェイスでは、工場出荷時にコントローラに設定されたサービスポートの MAC アドレスが使用されます。

- DHCP プロトコル (有効)
- DHCP プロトコル (無効) および IP アドレスと IP ネットマスク

ステップ 4 [Save Configuration] をクリックして、変更を保存します。

ステップ 5 管理インターフェイスまたは仮想インターフェイスに何らかの変更を行ったときに変更を有効にするには、コントローラをリブートします。

サービスポートインターフェイスの設定 (CLI)

ステップ 1 次のコマンドを入力して、現在のサービスポートインターフェイスの設定を表示します。

show interface detailed service-port

(注) サービスポートインターフェイスでは、工場出荷時にコントローラに設定されたサービスポートの MAC アドレスが使用されます。

ステップ 2 次のコマンドを入力し、サービスポートインターフェイスを定義します。

- DHCP サーバを設定するには、次のコマンドを入力します。

config interface dhcp service-port enable

- DHCP サーバを無効にするには、次のコマンドを入力します。

config interface dhcp service-port disable

- IP アドレスを設定するには、次のコマンドを入力します。

config interface address service-port ip-addr ip-netmask

ステップ 3 このサービスポートは、コントローラの帯域外管理に使用されます。管理ワークステーションがリモートサブネットにある場合、このリモートワークステーションからコントローラを管理するには、コントローラにルートを追加する必要があります。そのためには、次のコマンドを入力します。

config route add network-ip-addr ip-netmask gateway

ステップ 4 **save config** コマンドを入力して、変更を保存します。

ステップ 5 **show interface detailed service-port** コマンドを入力して、変更内容が保存されていることを確認します。